

公共交通のこと
考えてみませんか?

きづがわ

木津川市内公共交通を再編中

発行日
平成23年
5月1日

vol.

33

木津川市では、市民の皆様にとって使いやすく満足度の高い地域公共交通づくりに取り組んでいます。今月号では、加茂地域・山城地域の利用状況について、また木津駅西口バスターミナルや山城線車両のデザインのリニューアル、加茂地域へのおでかけ情報についてお知らせします。

利用状況（平成23年1月～3月）について

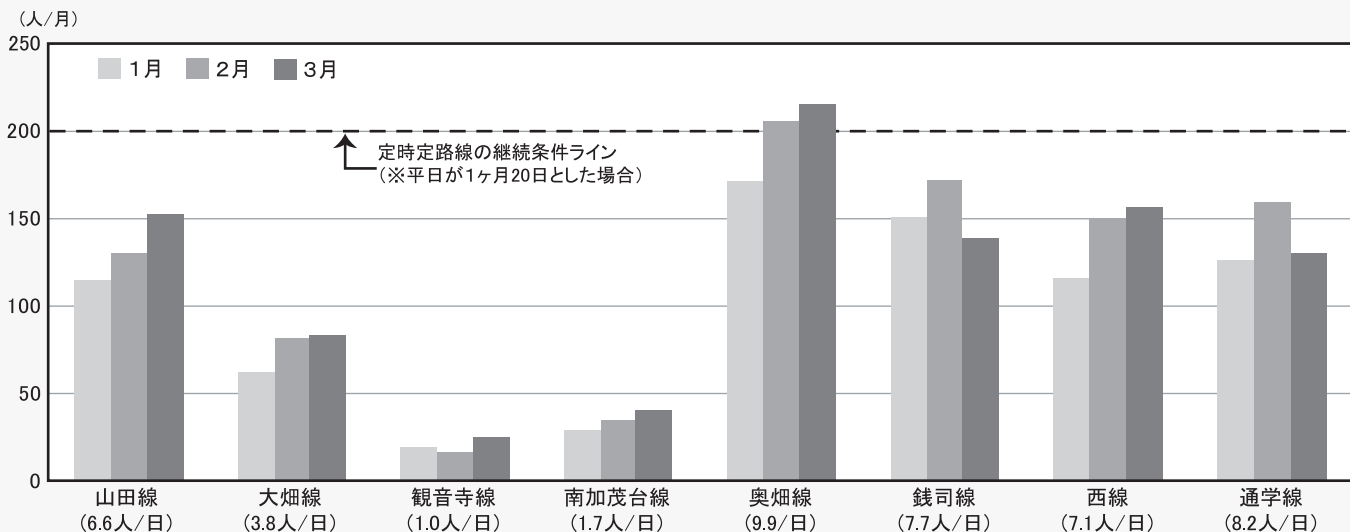
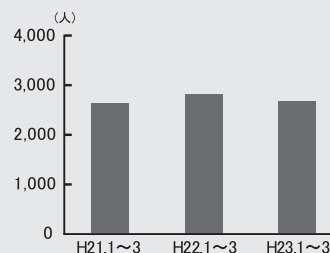


■加茂地域（当尾線除く）

路線の合計では、前年同期間と比較して、利用者数はやや減少しています。

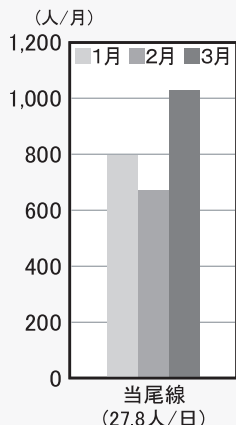
また、ほとんどの路線で「定時定路線の継続条件1路線あたり約10人/日」を下回ったままです。

※前年度との比較

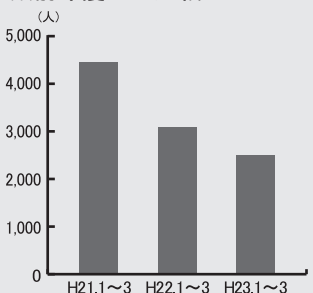


■当尾線

利用者数は、昨年と比較し減少しています。

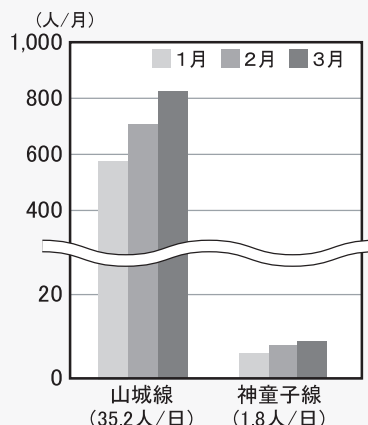


※前年度との比較

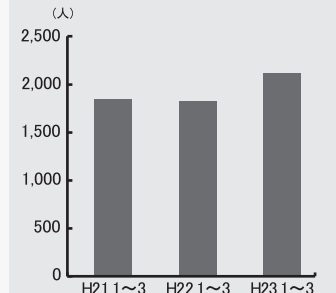


■山城地域

山城線は、昨年との比較では利用者数は増加しています。



※前年度との比較 (山城線)



※神童子線は、小型車両を活用した予約型路線

裏面へつづきます

JR木津駅西口のバスターミナルが新しくなりました



木津川市の玄関でもあるJR木津駅西口の駅前広場が工事を終え、4月からバスターミナルが新しくなりました。

きのつバスや山城線、奈良交通のバス乗り場は、木津駅の階段を降りたところにあり、バスシェルター（バス停やタクシー乗り場の上屋）やベンチも整備されたことから、とても便利になりました。



山城線の車両デザインが新しくなりました



山城線のバス車両の外観については、コミュニティバスと分かりにくいといった、ご意見を頂いていました。このため、車両にラッピングを行い、コミュニティバスとしてわかりやすいデザインとなりました。

山城線は、平日に木津駅から渋川までを結び、「アスピアやましろ」「やすらぎ苑」などの主要施設にアクセスしている路線です。

始発は木津駅発9:18、渋川発8:44で、以後1時間に1本、計8往復の運行をしています。

是非、ご利用ください。

新緑の季節 コミュニティバスで出かけませんか？



奥畑線と当尾線を使い継いで、海住山寺・恭仁宮跡と岩船寺や浄瑠璃寺のある当尾地域の周遊を楽しむことができます。

新緑の季節、お弁当を持って市内の観光地に出かけてみてはいかがでしょうか？

モデルコース ～加茂駅から海住山寺・恭仁宮跡、岩船寺・浄瑠璃寺へ～

※奥畑線は平日運行です。ご利用の際はご注意ください。

